

# ろうきょう

●発行/労働者供給事業関連労働組合協議会(労供労組協)  
 ●発行人/ろうきょう編集委員会  
 〒110-0003 東京都台東区根岸3-25-6 タブレット根岸2F  
 TEL 03(5603)7880 FAX 03(5603)7265  
 URL <http://www.union-net.or.jp/roukyo/>

## マホロバマインズ三浦にて16名が参加 2025年度学習会と幹事会開催される

去る12月14日(日)、15日(月)の一泊二日で労供労組協学習会&幹事会が神奈川県三浦市のマホロバマインズ三浦に16名参加の下、開催されました。

例年の学習会ではテーマを設定し、講師を招いて講演を開催してい

ましたが、今学習会では今後の公務労供運動を始め、た労供労組協の運動についての討議を行うことを中心として開催されました。

鈴木議長の「会計年度任用職員等の公務労働者の組織化が図れないか」ということを中心に、本日の学習会を開催させていただいており、皆さまのご協力をお願いしたい。」との挨拶の後、各組合の労供事業報告(後記)がありました。その後、左記の報告・提案がありました。

- (1) 公務労供運動(労供労組協、横山南人事務局長)
- (2) 公務における非正規の実態(NPO法人官製ワーキングプア研究会、白石孝理理事長)
- (3) 板橋区における労働

者供給のアプローチ(労供労組協、太田武二副議長)

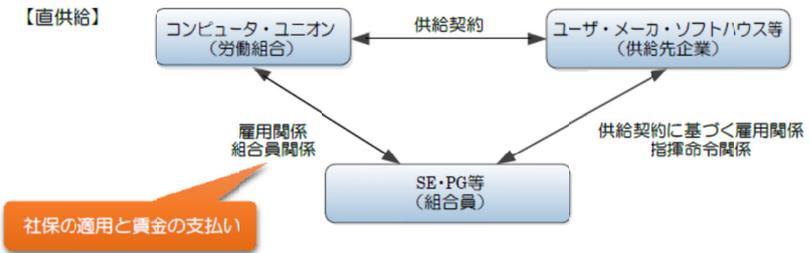
(4) 公務労供運動の位置付けと期待すること(労供研究会、橋本秀一座長)

### 公務労供運動

労供労組協では今期方針のなかの労供の拡大について、①「派遣」の「供給」への代替による官製ワーキングプアの解消、②労供の活用によるフリーランスの組織化検討を掲げています。

「派遣」の「供給」への代替については、社会・労働保険の適用について、供給元が供給組合員を雇用し、社会・労働保険を適用した上で、供給ができる(「供給・派遣」の派

【直供給】



遣事業体経由の供給とは区別して、「直供給」と呼んでいます。ようになっただことが背景にあります。公務労供運動については、公務における派遣労働者の労供への代替のみならず、左記についても追求すること

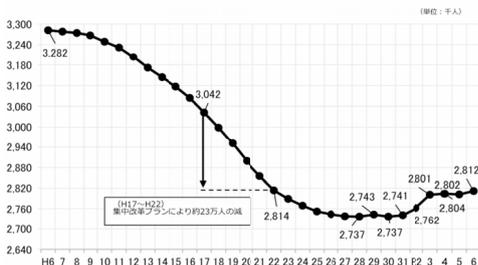
### 公務における非正規の実態

にしています。○会計年度任用職員における労供活用の可能性 ○公務の業務委託業者における派遣の供給への切替え ○労働組合による事業者(企業組合等)による指定管理者の可能性

### 歴史の変遷として、

1974年当時は、ほぼ100%正規職員だったが、下図の通り1994年(平成六年)から正規職員数が減りだしており、1990年代には非正規職員が急増しました。そして、現在では職場の3分の1程度が非正規となっています。非正規には、特別職非常勤職員、一般職非

図1 地方公共団体の職員数の推移(平成6年~令和6年)



常勤職員、そして臨時的雇用職員であったところ、2020年に会計年度任用職員制度が導入され、自治体の雇用形態が統一化されました。地方自治体の非正規公務員問題は圧倒的に女性が多く、ジェンダー問題として現れています。これは、女性が補助的労働というふうに決めつけられているという、非正規公務員問題の大きな要素としては、ジェンダー平等の問題があります。白石理事長は、労供



# 各組合労供事業報告

各組合における労供事業報告について要約を記します。

## 【全港湾の取り組み状況】

### ◆事業許可の変遷

当初は各支部において許可を取得していたが、地方労働局の理解不足の問題から、一度中央本部で一括許可に変更。その後、組合費の問題（各支部により



### ◆現在の実績

・日本海や沖縄などの波動性が多い港湾で効果的に活用

・新潟や沖縄では優秀な組合員が複数企業のヘルメットを車に積んで日々供給されている

### ◆課題と対応

・東北地方でのトラック運転手供給について運輸局から指摘があったが、交通省自動車局との協議により、供給契約は定期雇用との認識で安全運輸規則違反には

当たらないとの判断を得て解決

・2024年問題による人員不足が顕在化する中、労供事業の重要性が増している

## 【コンピュータニオンの現状】

### ◆組織の若返り

均年齢が年々1歳ずつ上がっていたが、若い人材の加入により組織が活性化

### ◆契約形態

3ヶ月平均の契約が多く、一部では1ヶ月単位の契約も存在

### ◆年齢による課題

60歳を超えると仕事の確保の難易度が上昇

## 【音楽家ユニオンの活動】

### ◆過去の取り組み

レコーディング・スタジオ分野で職員を雇用し労供事業を実施していたが、著作隣接権の個人分配化により回

体収入が減少し、現在は細々と活動

### ◆現在の状況

・東京と大阪で年間数件程度の供給実績

・NHK、民放キー5社、日本レコード協会との交渉で決定されるミニマムスケールを下

回らない基準で供給

・フリーランス新法対応として契約書を整備

### ◆業界課題

・独禁法の影響で基準演奏料交渉が困難になっている

・ペルナンブコ（ブラジル国木）のワシントン条約規制により海外ツアー時の楽器持ち出しに制約

・ANA楽器ケース貸し出し廃止による影響懸念

## 【サービス連合の添乗員事業】

### ◆事業形態

（株）フォーラムジャパンで添乗員を派遣

（元々は供給事業）

### ◆市場動向

・旅行需要は堅調だが、日中問題により中国人観光客が減少

・京都では中国人減少により単価が上昇

・欧米観光客への転換で収益性向上の動き

### ◆人材課題

添乗員の平均年齢が52、53歳と高い中で若い人材の確保困難

## 【全日建の臨時供給への挑戦】

### ◆関東支部において臨時供給の取り組み

・従来の日々雇用供給に加えて、臨時供給を検討

・全港湾新潟支部を視察し、具体的手続きを学習

・正社員の立場を維持しながら雇用を守る方策として位置づけ

◆近畿支部の法的闘争  
・10件程度の争議案件

を東京地裁で係争中

・労働委員会の理解不足により派遣と同様の扱いを受ける問題  
・同一賃金同一労働の確立と正社員登用で成果を上げている

## 【全建総連の災害対応】

### ◆2024-2025年の実績

能登半島地震：623戸、延べ21,746人

山形豪雨災害：36戸、912人

能登豪雨：156戸、6,923人

大船渡山林火災：33戸、1,136人

### ◆木造仮設住宅の特徴

プレハブではなくベタ基礎による本格的な木造建築で、後に公営住宅への転用も想定

### ◆労働環境の課題

能登では過酷な労働環境によりメンタルヘルス問題が発生

## 幹事会報告

### 【自動車運転手の供給について】

2025年7月17日に開催された第1回労供労組協4役会議のシユメに、「自動車運転手の供給について」

左記の記載がありました。

「現状の労供契約書（労働協約）においては、定期雇用との判断すなわち日雇いではないため自動車運転手も可。

定期雇用であるにもかかわらず、日雇労働被保険者制度の利用（「日雇労働被保険者手帳」（白手帳）の発行）は偽装日雇いとして問題になる可能性がある。」

この記載について、新運転中央本部の役員から疑問が呈されたとのことで、太田副議長

から「すなわち日雇いではないために自動車運転手も可。」との表現は「誤りでないか」との指摘がありました。

詳しい内容は2ページの「資料3. 自動車運転手の供給について」をご参照ください。

### 【厚生労働省要請について】

労供労組協では大阪労働局と東京労働局に対して2018年に「労働者供給事業者の責務および許可要件等に関する要請書」、2020年に「名ばかり労働組合による労働者供給事業者の排除に向けた要請書」といった要請を行っています。

今回厚生労働省に対して労働者事業者の許可要件に沿った適正化を求め、名ばかり労働組合の排除を求めて要請を行い、大阪労働局および東京労働局に対して、2018年と20

20年の要請を実行するよう合わせて依頼することとしています。

### 【労供労組協サイトリニューアルについて】

現在の労供労組協サイトは、サイトが古くHTMLベースで作られているため更新が困難（HTMLの知識がないとできない）であること、また、コンテンツの充実を図り、公務労協運動の推進にも寄与できるようSNSとの連携を図るなどを目的にリニューアルすることにしました。

SNS連携については、X（旧Twitter）、Facebook、Instagram等と連携し、情報発信力を高めます。

リニューアルサイトのコンセプトとして、

①目的の明確化、②利用者にわかりやすい構造、③更新のしやすさ、④セキュリティと個人情報保護、⑤デザイン

と信頼感、⑥検索性・情報アーカイブ、⑦アクセシビリティを掲げています。

新サイトにドメイン [rounkyo.org](http://rounkyo.org) を取得します。

コンテンツは、既存の①労働者供給事業とは、②職種紹介、③加盟組合、④機関紙「ろうきよう」、に加えて、新コンテンツとして左記を掲載します。

①「派遣はだめ！労働を始めよう」  
②労務供給推進プロジェクト関連  
③第95回ILO総会報告（雇用関係会議「雇用関係に関する勧告の採択」）

④労供労組協結成30周年（整理して掲載）  
サイトリニューアルは2026年度に予算化して、2026年7月1日に公開予定です。

## 第40回労供労組協總會のお知らせ

【日時】2026年3月6日（金） 15:00～18:00

【場所】日港福会館3F会議室（東京都大田区蒲田）

地図：<https://maps.app.goo.gl/rfod76wLa893DmxD9>

Web会議（Zoom利用）併用

ミーティング ID: 846 4687 4331

パスコード: 748185

【議題】①2025年度活動報告と2026活動方針提案

②2025年度会計報告と会計監査報告

③2026年度予算提案

④2026年度役員選出

【交流会】2026年3月6日（金）、18:00～